

警戒レベル

1 はじめに

令和2年7月豪雨では、梅雨前線が長期間停滞した影響で、西日本から東日本にかけての広い範囲で記録的な大雨となり、各地で土砂災害や川の氾濫等による甚大な被害が発生しました。

皆さんは、水害や土砂災害などの災害が発生するおそれがあるとき、どんな情報をもとに、いつ避難をするか決めていますか？今回は、避難を決断する際の手助けとなる「警戒レベル」について紹介します。

2 警戒レベルとは

大雨等により災害が予想される場合には、「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自らの判断で避難行動をとる必要があります。自治体が出す避難情報等や気象庁が発表する防災気象情報について、情報の重みと意味を直感的に理解できるよう、5段階のレベルを付加したものが警戒レベルです（図1）。警戒レベルは、災害発生の危険度が高くなるほど数字が大きくなり、レベルに応じてとるべき行動が示されています。

警戒レベル1は、早期注意情報です。警報級の現象が5日先までに予想されているときに、その可能性を[高]、[中]の2段階で発表します。最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めておきましょう。

警戒レベル2は、大雨注意報、洪水注意報です。こ

警戒レベル	住民がとるべき行動	住民に行動を促す情報	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報 (警戒レベル相当情報)	
		避難情報等	防災気象情報	
			洪水に関する情報	土砂災害に関する情報
5	既に災害が発生。命を守るための最善の行動をとる	災害発生情報	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫発生情報 ・大雨特別警報(浸水害) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨特別警報(土砂災害)
4	危険な場所から 全員避難 <ul style="list-style-type: none"> ・指定緊急避難場所等への立ち退き避難 ・災害が発生するおそれが高いため緊急に避難 	避難勧告 避難指示(緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫危険情報 ・洪水警報の危険度分布(非常に危険) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害警戒情報 ・土砂災害に関するメッシュ情報(非常に危険) ・土砂災害に関するメッシュ情報(極めて危険)
3	危険な場所から 高齢者等は避難 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等は立ち退き避難 ・他の人は立ち退き避難の準備をし、自発的に避難 	避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫警戒情報 ・洪水警報 ・洪水警報の危険度分布(警戒) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報(土砂災害) ・土砂災害に関するメッシュ情報(警戒)
2	避難に備え自らの避難行動を確認	洪水注意報 大雨注意報	<ul style="list-style-type: none"> ・氾濫注意情報 ・洪水警報の危険度分布(注意) 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害に関するメッシュ情報(注意)
1	災害への心構えを高める	早期注意情報		

※市町村が発令する避難勧告等は、市町村が総合的に判断して発令するものであることから、警戒レベル相当情報が出されたとしても発令されないことがある。

図1 警戒レベルと対応する情報

の段階でハザードマップ等を改めて確認し、自分がいる場所にどのような危険があるのかや避難所等を確認しておきましょう。

警戒レベル3は、避難準備・高齢者等避難開始情報です。気象庁が発表する大雨警報や洪水警報などもレベル3相当です。高齢者などの避難に時間がかかる方は避難を開始してください。また、土砂災害警戒区域や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いなどの危険な区域に住んでいる方も避難準備が整い次第避難を開始してください。

警戒レベル4は、避難勧告、避難指示（緊急）です。気象庁が発表する土砂災害警戒情報などもレベル4相当です。危険な区域に住んでいる人は全員が安全な場所に速やかに避難してください。なお、警戒レベル5相当の特別警報の発表を待ってから避難するのでは手遅れとなります。道路冠水や土砂崩れ等により避難が困難となる前に避難を完了できるよう、早めの行動をしてください。

警戒レベル5は、災害発生情報です。気象庁の発表する大雨特別警報もレベル5相当です。災害がすでに発生している可能性が極めて高く、もはや命を守るために最善を尽くさなければならない状況です。また、災害が起きないと思われているような場所でも安心できません。

なお、避難中にけがをしたり命を落としてしまうケースもあります。避難にあたっては、危険だと感じたらあらかじめ決めていた避難場所へ向かうことにこだわらず、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断で臨機応変に安全確保行動をとることが重要です。

3 おわりに

いつ発生するかわからない災害に備えて、他人事だとは思わずに災害への備えをしておく必要があります。警戒レベルで災害発生の危険度を直感的に理解し、的確な避難行動をとりましょう。

(この原稿の作成 現業班 臼田)

参考 HP

政府広報オンライン 「警戒レベル4」で危険な場所から全員避難！5段階の「警戒レベル」を確認しましょう

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201906/2.html>

気象庁 HP 防災気象情報と警戒レベルとの対応について

<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>



国土交通省 気象庁 青森地方気象台
〒030-0966 青森市花園一丁目17番19号
電話017-741-7411



気象庁ホームページ: <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>
青森地方気象台ホームページ: <https://www.jma-net.go.jp/aomori/>